

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	日本人の海外留学促進事業			担当部局庁	高等教育局		作成責任者
事業開始年度	平成26年度	事業終了 (予定)年度	令和4年度	担当課室	参事官(国際担当)		参事官(国際担当) 小林 洋介
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定) 「第3期教育振興基本計画」(平成30年6月15日閣議決定)		
政策	13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進			主要経費	経済協力費		
施策	13-1 国際交流の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-13_1.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)を踏まえ、意欲と能力のある若者全員への留学機会の付与を実現し、2022年までに日本人留学生を6万人(2010年)から12万人へ倍増させるとともに、「第3期教育振興基本計画」(平成30年6月15日閣議決定)において指摘されている、海外留学の魅力や意義、様々な支援の機会などについて、国が広く情報発信することで、若者の海外留学への機運を 高めていく取組の充実を図る。						
現状・課題 (5行程度以内)	「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ<J-MIRAI>」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日)において、日本での外国人留学生の受入数については、年々増加し、2019 年には約 31 万人となった。しかしながら、その後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、2022年には約 23 万人まで減少しており、世界各国が留学生の獲得にしのぎを削る中、日本においても留学生の受入数の改善が喫緊の課題として指摘されている。また、その他の計画等においても、様々な分野でグローバルに活躍できる人材を育成することが目標とされており、大学等における優秀な外国人留学生の受入れや日本人学生の留学生交流等を推進する必要がある。 独立行政法人日本学生支援機構「日本人学生留学状況調査結果」 令和2年度協定等に基づく日本人学生留学状況及び協定等に基づかない日本人学生留学状況の合計:107,346人(前年比 7,800人(6.8%)減) 令和2年度協定等に基づく日本人学生留学状況及び協定等に基づかない日本人学生留学状況の合計:1,487人(前年比 105,859人(98.6%)減) 令和3年度協定等に基づく日本人学生留学状況及び協定等に基づかない日本人学生留学状況の合計:10,999人(前年比 9,512人(640.0%)増)						
事業概要 (5行程度以内)	事業の目的を達成するため、以下の取組を実施する。 ○大学、企業等と連携した留学情報の収集及び提供の実施 ○日本人学生、若手社会人及び外国人留学生が交流する機会の提供 等 事業の実施にあたっては公募等により、民間等に委託。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	83	81	81	-	-
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	83	81	81	-	-	
	執行額(G)		83	72	79		
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	89%	98%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		100%	89%	98%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)				-		
		(目)					
	計(A)		-	-			

活動内容① (アクティビティ)		日本の若者等に対し海外留学についての情報提供を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		トビタテ留学JAPANの周知	トビタテ！留学JAPANの認知度(株式会社マクロミル「学生の海外留学に関する調査」)	活動実績	%	38	31	30	－	－
				当初見込み	%	40	40	40	－	－
↓	成果目標①～1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	効果発現の初期段階として、トビタテ留学JAPANの周知を着実に実施することで、トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラムの応募学生数を増加させることにつながるを考え、短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①～1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 15 年度	
		若者の海外留学応募を増やす	トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラムの応募学生数	成果実績	人	2,679	1,014	－	－	
				目標値	人	3,368	－	－	－	
				達成度	%	79.5	－	－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		※トビタテ第1ステージ(平成26年～令和2年)に関しては、令和2年度に募集を終了しており、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から令和3年度に渡航を実施している。								
↓	成果目標①～2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ＜J-MIRAI＞」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日)において、日本人学生の海外留学者数を全体で50万人にまで引き上げることを目指すことが提言されており、トビタテ留学!JAPANの応募者数を増やすことで、当該目標の達成に寄与するため、大学等が把握している日本人学生の海外留学状況及び海外の機関が把握する日本人留学者数(主に長期留学)の合計数を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①～3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 15 年度	
		日本人学生の海外留学者数(各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	大学等が把握している日本人学生の海外留学状況及び海外の機関が把握する日本人留学者数(主に長期留学)の合計数 ※令和3年度の実績は、現在、調査中であり、令和6年度に確定する予定	成果実績	人	44,196			－	
				目標値	人	169,336	44,197		380,000	
				達成度	%	26.1		－	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		＜成果実績＞ 独立行政法人日本学生支援機構「協定等に基づく日本人学生留学状況調査結果」 文部科学省調べ「海外の機関が把握する日本人留学者数(主に長期留学)」 ＜目標値の根拠＞ 「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ＜J-MIRAI＞」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日) ・中短期の留学者数(日本の大学等に在籍しながら留学している者):23 万人 ・日本人留学生における学位取得等を目的とする長期留学者の数:15万人								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

[illegible]

(※1)令和4年度実績を記入。
(※2)金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

文部科学省
81百万円

（本事業の選定委員会の審査・評価結果に基づき、委託先を決定するとともに、委託先に対して委託費を交付する。）

委託【随意契約(企画競争)】

A.株式会社
サニーサイドアップ
79百万円

（留学情報の収集・提供及び日本人学生、若手社会人、外国人留学生の交流イベントの実施等）

※セキュリティインシデントの発生に伴い、対応強化を目的に、年度途中で再委託先を変更

再委託【随意契約(企画競争)】

B.株式会社クーシー
17百万円

（トビタテ！留学JAPAN公式サイトの安全・安定的な運用(令和4年4月～12月)。）

再委託【随意契約】

C.スマートソーシャル
株式会社
7百万円

（トビタテ！留学JAPAN公式サイトの安全・安定的な運用及びインシデント発生対応(令和5年1月～3月)。）

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

